



朝晩の気温も過ごしやすくなってきており、ここ沖縄でも秋を感じられる時間が出てきましたね。季節の変わり目はカゼや思わぬ感染症を発症することもありますので、日頃からの健康保持や早めの病院受診・治療などを行い、元気に過ごしていきましょう。



10月10日は目の愛護デー

～小さな子どもは「見る力」も育ちざかりよ～

10を横にすると、目と眉に見えるので10月10日は「目の愛護デー」。生後すぐはぼんやりとしか見えていませんが、1歳までの時期は急速に「見る力」が発達します。3歳までには、多くの子どもが大人と同じ程度（視力 1.0）まで見えるようになります。

生まれてすぐ	1歳	3歳	5歳
視力 0.01	視力 0.2	視力 0.8～1.0	視力 1.0
明るい、暗い程度しか認識できません。	立体的に見る力、動くものを見る力など、視覚が急速に発達します。	大人とほぼ同じくらいまで視覚が育ってきます。	ほとんどの子どもが、大人と同じ視覚を身につけます。

早く治療するほど回復しやすい！

こんなサインに注意



見る力は、目から情報を取り入れ、脳で処理することを毎日繰り返して育ちます。目に異常があると脳に情報が届かず、見る力が育ちません。早く治療を始めるほど回復しやすいとされているため、見え方などの異常に気付いたら早めに眼科に相談しましょう。

正面から「見る様子」をチェックしてみると左右の焦点や物を見る様子が詳しくわかったりしますよ。

・・・流行性角結膜炎（はやり目）・・・

症状 はやり目ともいわれ、夏に多い病気です。1～2週間の潜伏期間があり、結膜の充血や目やに、かゆみ、まぶたのはれなどが見られます。

注意すること 目やに、目の充血の症状がなくなり、医師から感染の恐れがないと認められるまで、登園できません。感染力が強いため、タオルの共用などは避けます。

本当にあった怖い話

1歳の女の子がいました。お母さんと買い物に行こうと車に乗り、チャイルドシートに座らせようとしたのですが、嫌がって暴れたため、仕方なくチャイルドシートから降ろして運転していました。しかし、途中で後続車に追突され、後部座席の中央部に立っていた1歳の女の子は運転席まで飛ばされ、フロントガラスに衝突し、頭部に重症を負ってしまいました。

6歳未満の子どもにはチャイルドシート使用が義務づけられています。あなたは安全を優先としますか？それとも子どもの主張を優先しますか？

なぜ座らないといけないかを説明することも大切な親子のコミュニケーションですね。

ほけんだより

～安全編～



9月に実施した引き渡し訓練にご協力いただきました保護者の皆様へ感謝申し上げます。子ども達、職員、園、そして、保護者の皆様の安全のために今後も引き渡し訓練を継続していきたいと思っております。訓練の方法や引き渡しカードなども訓練の内容を踏まえ、変更していくこともありますのでご理解下さい。

悪い人は外見ではわかりません



不審者は見るからに怪しい姿ではなく、ごく普通の人々に紛れて近づいてきます。また、残念ながら「顔見知りの人」だからといって、絶対に安心だともいえない時代です。「すぐ近くだから」「少しの間だから」と油断しない事です。特に公園やショッピングセンターなど不特定多数のところでは特に注意しましょう。

また、インターネット、ゲーム、SNS…歩きスマホは安全の面から危険なばかりでなく、子どもから注意がそれてしまいます。「隣にいるから大丈夫」ではなく、子どもとしっかり手をつないでください。

子どもの事故を防ぐヒントは「ヒヤッと」にあり！

子どもがけがをしそうで「ヒヤとした」ときこそ、次の事故を防ぐチャンスです。

「無事でよかった」とすませるのではなく、なぜヒヤとしたのかを見直しましょう。

① 「ダメ!」「危ない!」は“そこが危険”のサイン

子どもをしかって制止するよりも、ものの置き場所をかえるなど、子どもが安全に過ごせるよう環境を整えましょう。



② 一度あれば二度、二度あることは三度ある

危ないと思ったら、必ず理由や経緯を考えましょう。原因がわかれば対策がとれます。対策をしないと、大きな事故につながる危険がそのままに。



③ 大人もいっしょにやってみる

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、いっしょに遊んで正しい使い方を示します。



登降園時の交通安全

子どもから目を離さないで!

交通事故は、保護者が近くにいるときにも起こります。散歩や買い物、登降園時には常に手をつなぎ、子どもが保護者から離れて歩くことがないようにしてください。

また、子どもを自転車や車から降ろした直後は、子どもから目を離さないでください。



子どもに教えないこと

- 1 歩く場所**
 - ・歩道または路側帯（白線の内側）を歩く
 - ・道路の右側を歩く
- 2 道路の横断の仕方**
 - ・信号の赤・青・黄の意味
 - ・信号機のない交差点の渡り方
- 3 標識の見方**
 - ・よく目にする標識や表示の意味
- 4 やってはいけないこと**
 - ・道路への飛び出し
 - ・道路での遊び
 - ・車のすぐ前や後ろの横断

